

都市再生整備計画 事後評価シート(案)

鎌倉駅周辺地区

平成26年10月版

神奈川県 鎌倉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	鎌倉市		地区名	鎌倉駅周辺地区			面積	720ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	710百万円	国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	【道路事業】市道032-000号線(小町通り)、市道027-000号線(市役所通り)、市道001-059号線(鎌倉警察署北側道路)、市道212-023号線(風致保存会前)、市道001-065号線(郵便局南側道路)、市道008-000号線(今小路通り)									
			提案事業	【高質空間形成施設】公共トイレ整備									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		【地域創造支援事業】公衆トイレユニバーサルデザイン化事業		高質空間形成施設から地域創造支援事業への変更			なし						
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	指標1	観光客の満足度	%	74	H20	80	H26	-	78	△	あり	平成22年度までは、観光客の満足度は伸びていたが、平成23年度に大幅に減少した。平成24年度以降は、観光客の満足度が向上し、あんしん歩行エリア、電線類の地中化、道路の景観舗装、公共トイレ整備などの事業完了に伴い、観光客の満足度が向上し、評価値(見込み値)は78%まで回復したが、目標には未達成であった。目標は未達成だが、近年は満足度が上昇しており、一定の効果は上がっている。	平成27年9月
	指標2	安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	13	H20	17	H26	-	14	×	あり	安全・安心な歩行者空間に関する満足度は、緩やかな減少傾向となっており、あんしん歩行エリアの整備を進めてきたが、一部の区間であるため、誰もが安心して歩ける快適な歩行者空間の改善に対する寄与は、限定的であったと思われる。	平成27年9月
指標3	良好な都市景観形成に関する満足度	%	52	H20	54	H26	-	62	○	あり	鶴岡八幡宮への主要動線である小町通り等の電線類の地中化事業や、景観舗装事業などにより、来訪者を温かくもてなす快適な空間となったことが、良好な都市景観形成に関する満足度の向上に寄与し、目標値を上回った。	平成27年9月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値(比較値)	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み		
	その他の数値指標1	観光客数	万人	1,934	H20			-	2,177			平成23年の東日本大震災の影響などから一時的に観光客数が減少したが、その後増加に転じ、平成25年は約2,300万人、平成26年の評価値(見込み値)も2,177万人と平成20年に比べ、約13%増加しており、電線類の地中化、道路の景観舗装などの事業により、来訪者にとって快適な環境の創出に寄与し、観光客の増加につながっていると思われる。	平成27年9月
	その他の数値指標2							-					
その他の数値指標3							-						
4) 定性的な効果発現状況	<p>電線の地中化により、見晴らしが良くなり後方の山が良く見えるようになり、良い景観となった。 カラー舗装によって、歩行者、ドライバーにとって歩車道の区分がわかりやすくなった。 遮熱性をもった舗装としたことで、歩きやすくなるとともにヒートアイランド抑制につながった。 トイレのユニバーサルデザイン化で、障害のある方や外国人観光客にとっても安心して観光スポットをまわれるようになった。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	【実施頻度】平成17年から年一回程度 【実施時期】平成17年～ 【実施結果】市民や観光客の意識調査結果により、事業の効果等をモニタリングしてきた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も引き続き市民・観光客の意識調査を実施し、市民・来訪者のニーズの把握に努める。					
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民参画でのまちづくりに対し、継続して支援を実施していく。						

様式2-2 地区の概要

鎌倉駅周辺地区(神奈川県鎌倉市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
豊かな歴史的遺産と身近な山並み、青い海などの良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の顔づくりを市民との協働による再創造の更なる推進を図る。 目標①: 駅周辺において、観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備を図る 目標②: 駅から主要観光スポット・公共施設までの改善を実施し、市民及び来訪者が安全で安心して歩ける歩行空間の更なる改善を図る		観光客の満足度	単位: %	74	H20	80	H26	78	H26
		安全・安心な歩行者空間に関する満足度	単位: %	13	H20	17	H26	14	H26
		良好な都市景観形成に関する満足度	単位: %	52	H20	54	H26	62	H26
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 高質空間形成施設 【公共トイレ整備事業】 1箇所</p> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道008-000号(今小路通り)</p> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道027-000号(市役所通り)</p> <p>■ 基幹事業: 高質空間形成施設 【公共トイレ整備事業】 寿福寺</p> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道008-000号(今小路通り)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道212-023号(風致保存会前)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道032-000号(小町通り)他</p> <p>■ 基幹事業: 高質空間形成施設 【景観舗装等】 市道032-000号</p> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道001-059号(鎌倉警察署北側道路)</p> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道001-065号(郵便局南側道路)</p> <p>■ 提案事業: 地域創造支援事業 【公衆トイレユニバーサルデザイン化事業】 4箇所</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道032-000号(小町通り)</p> <p>■ 提案事業: 地域創造支援事業 【公衆トイレユニバーサルデザイン化事業】 鶴岡八幡宮内トイレ</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道008-000号(今小路通り)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 提案事業: 地域創造支援事業 【公衆トイレユニバーサルデザイン化事業】 鶴岡八幡宮内トイレ</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 基幹事業: 道路 【あんしん歩行エリアの整備】 市道008-000号(今小路通り)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>■ 提案事業: 地域創造支援事業 【公衆トイレユニバーサルデザイン化事業】 鶴岡八幡宮内トイレ</p> </div> </div>									
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん歩行エリアの整備については一部達成されたが、引き続き未整備部分の事業実施が必要である。 ・公共トイレの整備およびユニバーサルデザイン化により、障害者の方や外国人観光客にとって使いやすいトイレが整備され、快適な環境整備が図ることが出来た。引き続き駅周辺、主要観光スポットにおいて公共トイレのバリアフリー化整備が必要である。 ・電線類の地中化及び景観舗装の整備により、街並みとの調和と開放感のある見晴らしの良い景観となった。 ・電線類の地中化により、既存の電柱及び電線等がなくなったため、道路上へ出される立看板等が目立つようになった。 ・電線類の地中化により、地震時の電柱倒壊、電線の垂れ下がり等の懸念がなくなり、都市防災の予防も期待できる。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・公共トイレのバリアフリー化を引き続き計画的に改修していく。 ・あんしん歩行エリアの整備については、財政状況の悪化等により、一部区間のみ整備となったため、引き続き未整備部分の事業を実施していく。 ・電線の地中化による看板等の目立ちについては、交通管理者、道路管理者等が連携し、道路上へ出される立看板等の注意を定期的に実施していく。 							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道032-000号線(小町通り)他	331.0	L=530m	487.0	L=530m	工事協定の変更交渉などに伴う工事進捗の遅れのため、事業期間の延長及び工事費の増額を行う。	実施する事業の延長は概ね変わらないため、まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響なし。	●	
	市道027-000号線(市役所通り)	2.0	-	2.0	-	安心歩行エリア整備計画を見直したことに伴い対象事業から削除予定	事業内容、事業費ともに軽微であり、まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響なし。		● (削除予定)
	市道001-059号線(鎌倉市警察署北側道路)	4.0	L=140m	4.0	L=140m	-	-	●	
	市道212-023号線(風致保存会前)	1.0	-	1.0	-	安心歩行エリア整備計画を見直したことに伴い対象事業から削除予定	事業内容、事業費ともに軽微であり、まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響なし。		● (削除予定)
	市道001-065号線(郵便局南側道路)	4.0	L=160m	4.0	L=160m	-	-	●	
	市道008-000号線(今小路通り)	36.0	L=830m	36.0	L=830m	-	-	●	
高質空間形成施設	-	221.0	-	108.0	-	施工箇所の精査に伴い、事業費を縮小する。また、関連する工事の遅れに伴い、事業期間の延長をするため。	施工箇所を精査し、一部を提案事業(地域創造支援事業)へ変更するとともに、事業費の縮減を行ったが、まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響なし。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	公衆トイレユニバーサルデザイン化事業	-	-	93.0	4箇所	高質空間形成施設から地域創造支援 事業への変更	基幹事業から提案事業への変更であり、まちづくり目標、目標を定量化する 指標、数値目標等への影響なし。	●	
事業活用調査	事業効果分析業務	3.0	-	3.0	-	-	-		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
鎌倉駅西口周辺地区整備推進事業		鎌倉駅西口周辺地区	1,549.0	1,549.0	H22	H26		
優良建築物等整備事業		鎌倉駅西口周辺地区	461.0	461.0	H23	H25		
道路		市道027-000号線(市役所通り)	166.0	166.0	H22	H26		
鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業		由比ガ浜通り	0	0	H22	H26		
鎌倉アダプト・プログラム		若宮大路	0	0	H22	H26		
鎌倉シルバーボランティアガイド事業		鎌倉駅周辺	0	0	H22	H26		

添付様式 2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし			
指標 1	観光客の満足度	%	-	-	74	H20	80	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
									事後評価	確定 見込み	●	78	事後評価		
指標 2	安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	-	-	13	H20	17	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
									事後評価	確定 見込み	●	14	事後評価		
指標 3	良好な都市景観形成に関する満足度	%	-	-	52	H20	54	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み	●	62	事後評価		
指標 4			-	-					モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み			事後評価		
指標 5			-	-					モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標 1	○：観光客の満足度は、目標に対し未達成であった。しかし、近年は満足度が上昇しており、一定の効果は上がっている。	
指標 2	×：あんしん歩行エリアの整備を進めてきたが、一部の区間であるため目標ほど満足度は向上しなかったものと思われる。	
指標 3	○：鶴岡八幡宮への主要動線である小町通り等の電線類の地中化事業や、景観舗装事業により、良好な都市景観形成に関する満足度向上に寄与し、目標値を上回った。	
指標 4		
指標 5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式 2-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指 標		データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) ※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (比較値) (イ)		数値 (ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課 題等)
			単位		基準 年度	基準 年度					
その他の 数値指標 1	観光客数	万人	-	-	1,934	H20	モニタリング	-	-	指標1「観光客の満足度」を 補完する指標として、「観光 客数」が観光客をはじめとし た来訪者を温かくもてなす快 適な環境整備を示す指標とし て、ふさわしいと考える。	指標1を補完し、来訪者をも てなす快適な環境整備を説 明する。
							事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標 2			-	-			モニタリング	-	-		
							事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標 3			-	-			モニタリング	-	-		
							事後評価	確定	見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式 2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

電線の地中化により、見晴らしが良くなり後方の山が良く見えるようになり、良い景観となった。
 カラー舗装によって、歩行者、ドライバーにとって歩車道の区分がわかりやすくなった。
 遮熱性をもった舗装としたことで、歩きやすくなるとともにヒートアイランド抑制につながった。
 トイレのユニバーサルデザイン化で、障害のある方や外国人観光客にとっても安心して観光スポットをまわれるようになった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
円滑な事業の執行のため、交付期間中はモニタリングを行う予定である。	予定どおり実施した	●【実施頻度】平成17年から年一回程度 【実施時期】平成17年～ 【実施結果】市民や観光客の意識調査結果により、事業の効果等をモニタリングしてきた。	今後も引き続き市民・観光客の意識調査を実施し、市民・来訪者のニーズの把握に努める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
「古都中心市街地まちづくり協議会」を設置し、市民参画でまちづくりを進めてきた。都市再生整備計画の期間中も継続して実施する。	予定どおり実施した	●		市民参画でのまちづくりに対し、継続して支援を実施していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 社会資本整備総合交付金の事後評価制度が定着し、設置意義が薄れたため古都中心市街地まちづくり構想で作られた事業が進んでいないため。)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 「都市再生整備計画(鎌倉駅周辺地区)事後評価庁内検討会」	経営企画課、道路課、観光商工課	平成26年10月7日	経営企画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標3		その他指標1		その他指標2			
指標名		良好な都市景観形成に関する満足度		観光客数		交通環境に関する満足度			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路事業(市道032-000号線(小町通り)他)	◎	鶴岡八幡宮への主要動線である小町通り等の電線類の地中化事業や、景観舗装事業などにより、来訪者を温かくもてなす快適な空間となったことが、良好な都市景観形成に関する満足度の向上に寄与し、目標値を上回った。	◎	平成23年の東日本大震災の影響などから一時的に観光客数が減少したが、その後増加に転じ、平成25年は約2,300万人、平成26年の評価値(見込み値)も2,177万人と平成20年に比べ、約13%増加しており、電線類の地中化、道路の景観舗装などの事業により、来訪者にとって快適な環境の創出に寄与し、観光客の増加につながっていると思われる。				
	道路事業(市道027-000号線(市役所通り))	-		-					
	道路事業(市道001-059号線(鎌倉市警察署北側道路))	◎		◎					
	道路事業(市道212-023号線(風致保存会前))	-		-					
	道路事業(市道001-065号線(郵便局南側道路))	◎		◎					
	高質空間形成施設事業(-)	-		◎					
提案事業	地域創造支援事業(公衆トイレユニバーサルデザイン化事業)	-		◎					
	地域創造支援事業(事業効果分析業務)	-		-					
関連事業	鎌倉駅西口周辺地区整備推進事業	○		◎					
	道路	◎		◎					
	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	-	○						
	鎌倉アダプト・プログラム	-	○						
	鎌倉シルバーボランティアガイド事業	-	○						

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も引き続き未整備箇所について、より良好な景観形成のための整備検討を進めていきたい。	今後も国内外を問わず様々な来訪者を見据えて施設整備等を進め、より安全で、快適な町歩きができるような施設整備及び検討を進めていきたい。		
-------	---------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標2							
指標名		観光客の満足度		安全・安心な歩行者空間に関する満足度							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見			目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路事業(市道032-000号線(小町通り)他)	△	平成22年度までは、観光客の満足度は伸びていたが、平成23年度に大幅に減少した。平成24年度以降は、観光客の満足度が向上し、あんしん歩行エリア、電線類の地中化、道路の景観舗装、公共トイレ整備などの事業完了に伴い、観光客の満足度が向上し、評価値(見込み値)は78%まで回復したが、目標には未達成であった。目標は未達成だが、近年は満足度が上昇しており、一定の効果は上がっている。	△	安全・安心な歩行者空間に関する満足度は、緩やかな減少傾向となっており、あんしん歩行エリアの整備を進めてきたが、一部の区間であるため、誰もが安心して歩ける快適な歩行者空間の改善に対する寄与は、限定的であったと思われる。						
	道路事業(市道027-000号線(市役所通り))	-		-							
	道路事業(市道001-059号線(鎌倉市警察署北側道路))	△		△							
	道路事業(市道212-023号線(風致保存会前))	-		-							
	道路事業(市道001-065号線(郵便局南側道路))	△		△							
	高質空間形成施設事業(-)	△		-							
提案事業	地域創造支援事業(公衆トイレユニバーサルデザイン化事業)	△		-							
	地域創造支援事業(事業効果分析業務)	-		-							
関連事業	鎌倉駅西口周辺地区整備推進事業	△		△							
	道路	△		△							
	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	△		-							
	鎌倉アダプト・プログラム	△		-							
	鎌倉シルバーボランティアガイド事業	△		-							

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	快適なまち歩きができるよう、継続的な事業の推進を図るとともに、立看板対策など街並み景観対策も進めていく。	今後も引き続き未整備箇所について歩行空間改善に係る整備を進めていく。			
------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 「都市再生整備計画(鎌倉駅周辺地区)事後評価庁内検討会」	経営企画課、道路課、観光商工課	平成26年10月7日	経営企画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
歩行者が安全で安心して歩ける道路については、財政状況の悪化等により一部区間のみの整備となったため、引き続き未整備部分の事業実施が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 電線類の地中化により、上空の電線が無くなり、災害時における電線の垂れ下がりが無く、歩行者が安全で安心して歩ける道路となった。また、都市防災の予防も期待できる。 カラー舗装による歩車分離が明示化され、歩行環境が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> 財政状況の悪化等により、一部区間の整備となったため、引き続き未整備部分の事業実施が必要である。 	
古都鎌倉の顔づくりとなる鎌倉駅西口周辺地区については、今後も関係者と協議を継続し、事業を実施する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 電線類の地中化により、開放感のある見晴らしの良い景観となった。 アスファルト舗装の表面に景観舗装(カラー舗装)を施すことにより、街並みとの調和を図った。 路面の表面温度を抑える遮熱性をもった景観舗装を実施したことにより、ヒートアイランド現象の抑制を図った。 障害のある方や外国人観光客にとっても使いやすい、公衆トイレのユニバーサルデザイン化が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 古都鎌倉の顔づくりとなる鎌倉駅西口周辺地区の事業は、継続中であり、今後も関係者との協議を実施し、事業を推進していく必要がある。 観光客集中地域である小町通り、鎌倉西口駅前に、新たな公衆トイレの設置が望まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電線類の地中化により、既存の電柱及び電線等がなくなったため、道路上へ出される立看板等が目立つようになった。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	歩行者空間の改善	誰もが安全で安心して歩ける快適な歩行者空間の改善を図る。	・電線類の地中化事業 ・景観舗装事業 ・あんしん歩行エリア整備事業
	来訪者をもてなす快適な環境整備	引き続き、公共トイレのバリアフリー化に取り組み、観光客をはじめとする来訪者の快適な環境改善を図る。	・公共トイレ整備事業

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩行者空間の改善	未整備部分の歩行者空間の改善を推進し、安全・安心な歩行空間の創出を図る。	・あんしん歩行エリア整備事業
	快適な街並みの創出	道路上の景観を阻害するとともに、歩行の妨げとなる無許可の立看板の撲滅を行い、快適な街並みの創出を図る。	・交通管理者及び道路管理者との連携強化 ・無許可立看板等への定期的な注意
	来訪者をもてなす快適な環境整備	引き続き、公共トイレのバリアフリー化に取り組み、観光客をはじめとする来訪者の快適な環境改善を図る。	・公共トイレ整備事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	観光客の満足度	%	74	H20	80	H26	確定	78	△	あり	→	平成27年9月	平成26年の鎌倉市の観光事情の結果を用い、確定値とする。	-
							見込み ●			なし ●				
指標2	安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	13	H20	17	H26	確定	14	×	あり	→	平成27年9月	平成26年度の市民意識調査の結果を用い、確定値とする。	-
							見込み ●			なし ●				
指標3	良好な都市景観形成に関する満足度	%	52	H20	54	H26	確定	62	○	あり	→	平成27年9月	平成26年度の市民意識調査の結果を用い、確定値とする。	-
							見込み ●			なし				
その他の数値指標1	観光客数	万人	1934	H20	/		確定	2,177	/		→	平成27年9月	平成26年の鎌倉市の観光事情の結果を用い、確定値とする。	-
						見込み ●	/							
その他の数値指標2		0	0	0	0	/		確定	0	/		→		-
						見込み	/							
その他の数値指標3		0	0	0	0	/		確定	0	/		→	-	-
						見込み	/							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成26年11月4日～12月3日	平成26年11月4日～12月3日	担当課への 電話、FAX、電子メール	経営企画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで公表している旨を掲載	—	平成26年11月4日～12月3日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当課での閲覧	平成26年11月4日～12月3日	平成26年11月4日～12月3日		

住民の意見					
-------	--	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員			経営企画課		
その他の委員					
審議事項※1		委員会の意見			
事後評価手続き等にかかる審議	方法書				
	成果の評価				
	実施過程の評価				
	効果発現要因の整理				
	事後評価原案の公表の妥当性				
	その他				
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認				
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成				
	フォローアップ				
	その他				
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認				
その他					

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。